

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしきたり

第107号



〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

『雪国』は翻訳できるか（学習センター所長 吉川 栄治）	1
翻訳あれこれ（滋賀県立大学名誉教授 石田 法雄）	2
謝辞（大学院博士後期課程 生活健康科学プログラム 横井 正之）	3
退任教授の挨拶	4
客員教員の紹介	5
滋賀学習センターの勉強会のご案内	7
事務室からのお知らせ	9



『雪国』は翻訳できるか

学習センター所長 吉川 栄治

私は二十歳、高等学校の制帽をかぶり、紺飛白^{こんがすり}の着物に袴をはき、学生カバンを肩にかけていた。

川端康成『伊豆の踊子』の冒頭部分である。この「私は二十歳」をサイデンステッカーは”I was nineteen”と訳した。川端が伊豆を旅したのは旧制一高在学中の19歳、数えて20歳のときである。訳者は事実の正確な伝達を重視したわけだが、「はたち」のみずみずしい語感と人生の節目の意味は失われてしまった。

さらに、作品名は”The Izu Dancer”と身も蓋もない直訳である。昭和初期の「踊子」とは、「旅をしながら、宿場、温泉場などで踊りをする女」（日本国語大辞典）、「歌舞により客席を取り持った女……芸を表に裏では売春を行い」（角川古語大辞典）というのが実態だから、”Dancer”ではエリート学生の「私」との階級差や踊子を待ちうける苛酷な人生への想像は生まれえない。といて、他に適当な訳語もないのだろう。

『雪国』は妻子もちの中年男と温泉芸者との情事をえがく。起承転結もない平板なストーリーのこの小説を、中学時代夢中になって読みふけた。清冽な叙情性と官能性、そしてしびれるような描写力にひきこまれ、同じ場面を何十回も読み返した。比喩を駆使する詩のような文体は、日本語の特性とあいまって翻訳のむずかしさに定評があり、英語訳・ドイツ語訳・ロシア語訳との詳細な比較分析もされている。

近代文学史上最も有名な冒頭文からその世界が始まる。英訳、さらにその反訳をあげてみよう。

(原作) 国境の長いトンネルを抜けると雪国であつた。夜の底が白くなつた。信号所に汽車が止まつた。

(英訳) The train came out of the long tunnel into the snow country. The earth lay white under the night sky. The train pulled up at a signal stop. — by E.G.Seidensticker

〔 列車は長いトンネルを出て雪国に入った。大地は夜空の下で白く横たわっていた。列車は 〕
停止信号のところで止まった。

川端はサイデンステッカーの翻訳のおかげでノーベル文学賞をとった。しかし、この二つはおよそ異質なものといわねばならない。英訳の主語は列車と大地だが、原作に主語はない。なくても語り手の位置はあきらかで、トンネルを抜けた瞬間に異世界を感知したのは主人公島村であり、車窓の向こうに暗闇と雪におおわれた大地（「夜の底」と隠喩で表現している）をみたのも島村であって、視点はずっと車中にある。対して英訳の主語は三人称で、列車の外から事実を記述しているかのようだ。

じつはサイデンステッカーは二度『雪国』を翻訳している。上記は1996年の訳で、ノーベル賞選考委員が読んだ1956年の訳は、”The train came out of the long border tunnel — and there was the snow country. The night had turned white.”と、より原文に近い。新訳では割愛された「国境」は”border”と訳出され、風景の転換も”—and there was”で示してあるが、主語の”train”はやはり省略できず、他方「夜の底」の「底」は大胆に捨てられている。これだけ言葉を出し入れすると、作品の印象は変わらざるをえない。

『伊豆の踊子』も『雪国』も作家の実体験である。駒子のモデルは越後湯沢の芸者丸山キク。19歳で川端と出会い、25歳で年季が明けたのちは地元三条にもどって仕立屋と結婚した。悲しいまでに美しい小説のこのヒロインたちは芸と身体を売るいわば賤業民で、しかもそれが主人公と繊細な感情をかよわせる障壁になっていない。この日本的な風土をキリスト教圏の読者が理解するのは容易でないが、そういう社会と男女のありようは現代日本人にももはや異文化といてよい。言葉だけの問題ではないのである。

翻訳あれこれ

学習センター客員教員 石田 法雄

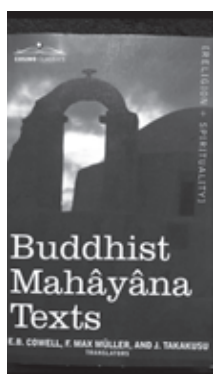
先日、ある翻訳家から質問を受けました。「仏の世界と人間の世界」の英訳が「the worlds of Buddha and humans」となっているのが気になり、humans に合わせ Buddha を Buddhas と複数にすればいいのかという質問でした。僕はすぐには答えられず色々と考えさせられました。

問題の一つは、日本語の「仏」はどういう意味で使われているかということです。仏陀（仏）は梵語の *buddha* からの表音文字で、名詞形の意味は覚者です。その仏陀の英語表記は the Buddha, the buddha, a Buddha, a buddha, Buddha, buddha, the Buddhas, the buddhas, Buddhas, buddhas と様々あります。よくみかけるのは the Buddha ですが、釈迦牟尼仏、阿弥陀如来、大日如来、薬師如来とかの個別の仏（如来）を暗に指しています。また仏の三身として分類されると、色も形もない法身（Dharma-body）としての仏、願がかなえられた報身（Fulfilled-body）としての仏、具体的な形をとる応身（Personified-body）としての仏があり、仏をどう理解しているのかによって解釈は異なります。

「仏の世界と人間の世界」の英訳を試みるにあたり、そこで表されている仏がどの意味で使われているかが重要となり、簡単には訳せません。仏が単数なのか複数（諸仏）なのかを判断するにも情報が足りません。冠詞があるかないかによっても意味合いが異なります。英語のネイティブチェックを受けたからいいといっても、オリジナルとは異なって表現されていることが多々あります。文化にまつわる訳は極めて困難であります。

仏典の英語訳を研究する中、梵語経典からの英訳と漢文経典からの英訳を比較すると様々な相違が見られます。例えば、同じ経典ながら Max Müller の梵語経典からの英訳と鳩摩羅什の漢文経典からの英訳を比べると、その変遷は「人間の営み」を思い起こさせます。翻訳はインタープリテーションであったりトランスミッションであったりする中、翻訳作品がオリジナルの本質を伝えつつもオリジナルを凌ぐ一面があります。時代・風土に沿ったものであれば、あるいは、奇想天外であってもそれが新鮮で「今」において「よし」となれば、受け入れられ継承されてきた歴史がみられます。

また鈴木大拙の『歎異抄』の訳には、キリスト教の用語がふんだんに用いられています。これは大拙の禪に関する莫大な数の英語著書には見られない傾向です。単語がどう訳されているのか、あるいは全体でもって何を伝えようとしているのか、経典等の翻訳事例を検証する中、「一語でもって全てを表そうとするのか、全てでもって一つのことを顕そうとするのか—All in One. One in All.」が頭をかすめます。



Max Müller



D.T. Suzuki

謝 辞

大学院文化科学研究科博士後期課程

生活健康科学プログラム

卒業生・修了生代表 横井 正之



春の訪れを感じるこの良き日、学位記授与式を迎えることができました。放送大学の関係者の方々、そして今日まで私の研究及び仕事に関わっていただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。

私は、放送大学には修士から博士と5年間お世話になりました。長男が受験勉強を始めたのをきっかけに、自分もそれまで少しずつ手掛けていた薬局の研究を本格化するためにスタートしました。最初のゼミが京都であった日に、担当の田城教授から、英文でジャーナル投稿しなさいと指示をいただき、気の遠くなる思いでエライ所に来てしまったと慌てたことを覚えています。帰りに見上げた空にそびえ立つ、真っ白な京都タワーがやたら高かったことが昨日のこのように思い出されます。

それから見よう見まねで論文を書き、博士の3年間では、学会発表27件、査読付き論文と依頼論文は21報、そのうち英語論文は9報にまでなりました。数ばかりが能ではありませんが、田城先生始め放送大学という素晴らしい教育環境が私をここまで育てていただいたことは間違いのないと思っています。

私の主な研究内容は、医薬分業制度の評価、つまり、医薬分業を進めることが薬剤料削減につながるかという困難な課題に挑んだものです。当初、この論文は、投稿してはリジェクトを繰り返していましたが、最後は、カナダの学術誌にアクセプトされました。この研究は、それまで医薬分業はコスト高になるばかりで、医療費削減には貢献していないという見方が一般的であっただけに、世界で初めて薬剤料の削減効果を示す科学的なデータを提示出来たことは、とてもインパクトがありました。

折しも、医薬分業見直しの議論が進められる中で、私の研究結果は注目され、国の規制改革の会議などで取り上げられました。このことは、現場で日々、調剤を行っている一薬剤師としては、一矢を報いた思いでした。職場や地域の問題意識から研究を進め、最後は政策にも一定の影響を与えるアウトカムが得られたことは、まさに放送大学の真骨頂ではないかと思えます。今後ともこの素晴らしい教育・研究の機関として、放送大学の益々のご発展を願ってやみません。本日は、誠にありがとうございました。

上の写真は、3月24日にNHKホールで挙行された学位記授与式に於いて、卒業生・修了生代表の謝辞を述べられている横井正之さんです。

退任教員の挨拶

幅広い学びを通じた驚きと楽しみ

天野 耕二



客員教員としての 5 年間の任期を終えるにあたり、面接授業や勉強会で一緒にさせていただいた受講生の皆様とともに多大なご支援をいただいた職員の皆様に心より御礼申し上げます。勉強会では、環境とエネルギーの複合的な問題、環境保全と地域経済の自立、水資源問題の未来と持続可能な社会など、環境に係る幅広いテーマについて大変有意義な討論を重ねることができました。環境問題は実際の社会や経済との関わりを考えると非常に複雑で難解な問題ですが、勉強会でのちよつとした雑談の中にも今この社会で起きている様々な問題を解決する糸口が見

つかるような驚きを度々感じました。大学という大きな学びの場では、一見すると関係なさそうな話の中にいつのまにか自分がずっと探していた答があったということがしばしば起こります。今後も受講生の皆様が日々の学びを通して「思わぬ発見」に出会う楽しさをたくさん味わえるように祈念しています。

学び合うことの意味

小堀 聡



月日の経つのは早いもので、このたび5年間の客員教員の任期を終えることになりました。この間、歴代の所長や客員教員の先生方、職員の方々、そして、ともに学ぶことができた学生の皆さんに心からの感謝を表したいと思います。

勉強会では、「岩波新書で「認知科学」を読む」と「岩波新書で「脳科学」を読む」と題して、合計3冊の本を読み進めていきました。一冊の本を丁寧に読んで解説を加えていくということは、普段あまりやっていないので、時として、自分の理解が十分でないことや知らないことも見付き、とても勉強になりました。また、一方的に講

義するだけでなく、学生の皆さんから質問を受けたり、議論したりしたことも、とても良い経験になったと思います。そうした学び合いこそが本来の学びの姿だと改めて感じました。

退任後もまだ面接授業を担当しますので、またどこかでお目にかかることもあるでしょう。引き続きどうかよろしくお願いたします。

客員教員の紹介

秋山 元秀 先生



昨今「地政学」というタイトルをつけた本を本屋でよく見かけます。地政学というのはドイツ語の Geopolitik を訳したのですが、政治を地理的条件によって理解しようというのはとくに新しいことではなく、これまでも人文地理学とか歴史地理学の分野で論じられてきました。しかしグローバル化が進んで、国家や国境が無意味になりつつあるとしてきた潮流が、地理的条件によってつくられる「地域」が依然として無視できない枠組みであることを認めるように変わってきたことが、「地政学」の流行を生んでいるのかもしれませんが、Revenge of Geography というタイトルの本もあります。私も地理学を学んできたものとして「やっぱり地理だよ！」と声をだしてみたいと思っています。

【滋賀大学名誉教授／専門分野: 歴史地理学・人文地理学】

石田 法雄 先生



宗教学(東洋思想)と英語を専門としています。道元思想を英訳と共に講読したり、東洋思想を宗教学の立場から論じて勉強会をしたりしましたが、最近は英会話が中心です。

「ちょっと英会話」と題して、和気あいあいと英語を使つての勉強会を月2回行っています。普段の日常生活を紹介したり、最近の個人的な、あるいは、タイムリーな社会的なイベント・出来事をシェアしたりしています。また、四季折々につけての日本の行事やその文化に触れたり、それらをテーマとして話し合ったりします。必要に応じて英文法の説明を行います。学生さんには事前に勉強会のテーマをメールでお知らせします。

【滋賀県立大学名誉教授/専門分野: 宗教学・英語英文学】

井上 辰樹 先生



世界保健機関(WHO)は、運動不足が死亡に影響する因子の第4位に位置することを報告しました。運動不足を解消し、適切な運動を習慣として定着させることが、現代社会において、極めて重要なことであることが明らかになりました。

私はこの運動の習慣化について生理学的、公衆衛生的な面から研究しています。現在の研究テーマは、1. 生活習慣病予防におけるラジオ体操第3の役割、2. 運動実践を習慣化するための必要条件、2. 運動のうつ予防、介護予防効果に関することです。どれも青壮年期、高齢期において重大な問題です。みなさん、一緒に勉強していきましょう。

【龍谷大学教授/専門分野: 公衆衛生学・運動生理学】

梅澤 直樹 先生



専攻は社会経済学です。合理的な経済人を想定して、一定のコストで最大の成果をあげる、ないし一定の成果をあげるためのコストを最小にするといった行動原理に考察対象を限定する現代の主流派経済学にあきたらず、そのように効率性にとらわれる経済行動は私たちのどのような経済の営み方から生まれてくるのかといったことに遡って、社会学など隣接科学にも学びながら、経済を理解しようとしています。今季の学習会でも『あたりまえを疑う社会学』という本を読んでいます。ヒアリング調査をするさいの調査者の心構えをあらためて教えられました。こうしたことに関心のある学生さんがおられたら、ぜひ学習会にご参加ください。

【滋賀大学名誉教授／専門分野: 社会経済学】

兼重 努 先生

本年度より客員教員を拝命いたしました、兼重努と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本務校の滋賀医科大学では教養教育を担当しています。専攻は文化人類学。中国の少数民族文化、風水思想、積徳行、文化遺産などを研究しています。

本年度第一期の勉強会では、多民族国家としての中国についてとりあげます。課題図書『多民族国家 中国』（王柯著、岩波新書）を読みながら、皆さんと一緒に勉強したく思っています。

私は、トン族というタイ系の少数民族を対象に中国南部の村で長期のフィールドワークを行ってきました。折に触れて、その時の経験を皆さまに紹介できたらと思っています。

【滋賀医科大学教授／専門分野:文化人類学】

蔵永 瞳 先生

昨年度より客員教員を勤めております、滋賀大学教育学部の蔵永瞳と申します。専門は社会心理学で、対人相互作用の中での感情の機能や、支え合いの関係を築くためのコミュニケーションに関心を持っています。

本年度第一期の勉強会では、発達心理学と社会心理学の接点にあたるテーマをとりあげて解説する予定です。人間は、生まれて死ぬまでの間に、周囲の人々から様々な影響を受け、また、周囲の人々にたくさんの影響を及ぼしながらそれぞれの発達過程を歩んでいきます。勉強会では、社会と発達の両観点からどのように人間の心が理解できるのかについて考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【滋賀大学講師／専門分野:社会心理学】

藤原 学 先生

本年度より客員教員になりました、龍谷大学理工学部の藤原学です。専門はX線を中心とした機器分析化学です。金属錯体や化合物、奈良絵本や土偶などの考古試料、森林土壌や河川水などの環境試料、毛髪などの生体試料とさまざまな物質を分析対象にしています。

2018年度第一学期の勉強会では、「電子から見る化学(周期表から物質へ)」と題して、電子の観点から化学という学問を考えていきたいと思えます。私達の身の回りには多くの化学物質があふれ、それらのお陰で便利で快適な生活が送れています。化学物質は、当然のことながら原子核(陽子と中性子)と電子から構成される原子のみからできています。化学物質の中では電子が重要な働きをしているため、電子ことを深く知らないと化学を理解することができません。皆さんとともに電子の観点から化学を勉強したいと思えます。よろしくお願ひします。

【龍谷大学教授／専門分野:機器分析化学】

滋賀学習センターの勉強会のご案内

「勉強会」は、客員教員によって開催される学びの場です。滋賀学習センターに所属する学生ならどなたでも参加して頂けます。受講は無料で、予約や申込も不要ですので、都合のつく時に直接教室にお入りください。ぜひ、お気軽にご参加ください。

※勉強会の日程は、急遽変更になることがあります。変更の際は、滋賀学習センターのホームページ及び学習センターの掲示板でお知らせしますので、ご確認ください。

◆古今集の世界

吉川 栄治 先生

日本文化の出発点となった最初の勅撰集『古今和歌集』の世界にふれます。文字の大きなワイド版岩波文庫を使用します。

月	日	曜日	時間
4月	10日・24日	火	10:30~12:00
5月	8日・22日	火	10:30~12:00
6月	5日・19日	火	10:30~12:00
7月	3日・17日	火	10:30~12:00

◆中国史の原典を読む

秋山 元秀 先生

宗の司馬光著『資治通鑑』の漢武帝の時代(巻 17)を読みます。テキストには活字標点本(中華書局版)を使います。和刻本(山名本)もあります。

月	日	曜日	時間
4月	11日・25日	水	10:30~12:00
5月	9日・23日	水	10:30~12:00
6月	6日・20日	水	10:30~12:00
7月	4日・18日	水	10:30~12:00

◆ちょっと英会話その5

石田 法雄 先生

簡単な英会話です。時に英文法の解説をします。趣味・趣向、最近の出来事などを主なテーマとしています。

月	日	曜日	時間
4月	13日・27日	金	13:30~15:00
5月	11日・25日	金	13:30~15:00
6月	1日・22日	金	13:30~15:00
7月	6日・20日	金	13:30~15:00

◆健康と運動

井上 辰樹 先生

人類にとって運動とはいかなる価値を持つのか、また現代社会において運動不足の与える影響とはについてみなさんと一緒に身体を動かしながら、考えていきたいと思います。

月	日	曜日	時間
4月	20日	金	13:30~15:00
5月	18日	金	13:30~15:00
6月	15日	金	13:30~15:00
7月	13日	金	13:30~15:00

◆経済学に親しむ

梅澤 直樹 先生

現代の著名な経済学者たちについて、その学説を彼らの人生と重ねて親しみやすく説明した。東谷暁『経済学者の栄光と挫折』（朝日新書）を素材に、学習してみましょう。

月	日	曜日	時間
4月	13日・27日	金	10:30~12:00
5月	11日・25日	金	10:30~12:00
6月	1日・15日	金	10:30~12:00
7月	6日・20日	金	10:30~12:00

◆多民族国家としての中国を知る

兼重 努 先生

王柯（著）『多民族国家 中国』（岩波新書）の輪読と兼重による解説により、多民族国家中国に関する基礎知識を学びます。

月	日	曜日	時間
4月	10日・24日	火	15:00~16:30
5月	8日・22日	火	15:00~16:30
6月	12日・26日	火	15:00~16:30
7月	3日・17日	火	15:00~16:30

◆対人関係の発達社会心理学

蔵永 瞳 先生

対人関係形成の基盤となる能力や、発達に伴う他者との関係の変化について、発達心理学・社会心理学の知見を紹介します。

月	日	曜日	時間
4月	17日	火	15:00~16:30
5月	15日・29日	火	15:00~16:30
6月	19日	火	15:00~16:30
	29日	金	11:00~12:30
7月	10日	火	15:00~16:30

◆電子から見る化学(周期表から物質へ)

藤原 学 先生

化学をより深く知るためには、電子のことをよく理解する必要があります。そこで、電子の方から化学を勉強していきます。

月	日	曜日	時間
4月	10日	火	10:00~11:30
5月	8日	火	10:00~11:30
6月	12日	火	10:00~11:30
7月	10日	火	10:00~11:30

事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、インターネット配信、郵送による教材の貸出、図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

第1学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

- * 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システムWAKABAに登録されていることが必要です。大学本部での登録後、学習センターで発行することになります。
- * 学期開始後から単位認定試験開始までに余裕をもって、手続きを終えてください。
- * 有効期限を経過したり、退学等により学籍を失った場合は、学習センターに返還してください。
- * 学籍が継続する場合は、期限切れの学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。

☆詳しくは、「学生生活の葉」学部:18頁～20頁、大学院:24頁～28頁を参照ください。

■入構許可証の発行

- * 車で来学される方は「入構許可証」が必要です。
- * 「入構許可申請書」は「利用の手引き」最終ページに綴じ込んでいます。必要事項をご記入いただき、切り離して窓口にご持参ください。「入構許可証」を発行します。
- * 入構許可証は発行年度のみ有効です。

学割証の発行について

全科履修生・修士全科生のみ利用できます。選科ならびに科目履修生は利用できません。

① 自宅の最寄り駅から学習センターに通学するための回数券(定期券不可)を購入できます。

- * JR西日本(2割引) 瀬田まで購入可
- * 京阪電車(2割引) 京阪山科・皇子山・京阪膳所・京阪石山まで購入可
- * 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
- * 有効期限は、発行日から1ヶ月です。

② 自宅の最寄り駅から他学習センターの面接授業を受講するため・大学本部に通学するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道100kmを超える場合のみ)

< 科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。 >

- * JR(2割引) 例: 瀬田→(米原経由)→海浜幕張
- * 有効期限は、面接授業等の初日の10日前から終了日の5日後です。

☆詳しくは「学生生活の葉」学部:127頁～129頁、大学院:109頁～110頁を参照ください。

インターネット配信・インターネットラジオについて

放送授業(テレビ科目、ラジオ科目)は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからないWi-Fi環境等での視聴を推奨します。

ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ)もご利用いただけます。

詳しくは、<http://radiko.jp> をご覧ください。

放送教材の貸出について

放送教材の貸出は、大学本部でのみ郵送にて行っています。現在登録している科目及び再試験科目の放送教材を郵送による貸出ができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。

★詳しくは「学生生活の葉」学部:33頁～35頁、大学院:44頁～46頁を参照ください。

図書・再視聴室の利用について

■**利用時間** : 9:15～17:45 ○大学院・学部単位認定試験中は利用時間が拡大されます。

■貸出対象

「禁帯出」の表示のある事・辞典、年鑑、印刷教材以外の図書のみ貸出できます。

放送教材は登録科目にかかわらずどの科目でも、受付で許可を得て室内視聴ができます。

■貸出期間及び貸出冊数

貸出期間:1か月以内

貸出冊数:学部生 4冊以内、院生と卒業研修履修者 6冊以内

(学習センター閉所日や開所時間外は玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。※開所中は「図書・再視聴室」へ返却してください。)

図書室を活用しましょう!



■**貸出停止期間** : 7月13日(金)～8月5日(日)

※単位認定試験開始の2週間前から終了までは貸出を停止します。

※貸出中の図書・放送教材は7月19日(木)までに返却してください。

■**閉室日** : 毎週月曜日・祝祭日、9月25日～9月30日、2019年3月23日～3月31日

■ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用する際には投入口に100円必要ですが、使用后100円は戻ります。)

また、カウンターにメッシュケースを置いていますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

■閉講科目の貸出について

平成29年度末で閉講になった科目の放送教材は、平成30年度開講科目の棚とは別に配架しています。再試験を受けられる方はご利用ください。なお、閉講科目の放送教材の配架期間は8月末までとなっています。

わからないときの連絡先(本部担当課)

大学本部・総合受付(TEL:043-276-5111)に電話後、音声ガイダンスに従って「1」をプッシュし、担当課へお問い合わせください。＜受付時間＞平日:午前9時～午後6時/土曜日:午前9時～午後1時

(土曜日の対応は、教務課、学生課、学習センター支援室、連携教育課に限る)

★詳しくは「学生生活の葉」学部:136頁、大学院:117頁を参照ください。



スケジュール



4 月				5 月				6 月			
日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容
1	日	×	第1学期放送授業開始(～7/21) 集中科目履修生募集要項配布(看護/司書教諭) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始	1	火	○	集中科目出願受付・在学生科目登録 (看護～5/31)(司書教諭～6/7)	1	金	○	【勉】梅澤 10:30 【勉】石田 13:30
2	月		閉所日	2	水	○		2	土	○	
3	火	×		3	木		憲法記念日(閉所日)	3	日	○	
4	水	×		4	金		みどりの日(閉所日)	4	月		閉所日
5	木	×	オンライン授業開始(～8/31)	5	土		こどもの日(閉所日)	5	火	○	【勉】吉川 10:30
6	金	×		6	日	○		6	水	○	【勉】秋山 10:30
7	土	×		7	月		閉所日	7	木	○	通信指導提出期限 集中科目(司書教諭)募集要項配布終了 集中科目(司書教諭)受付締切
8	日	○	図書貸出可(～7/12)	8	火	○	【勉】藤原 10:00 【勉】吉川 10:30 【勉】兼重 15:00	8	金	○	
9	月		閉所日	9	水	○	【勉】秋山 10:30	9	土	○	面接授業
10	火	○	教員免許更新講習生受付開始 【勉】藤原 10:00 【勉】吉川 10:30 【勉】兼重 15:00	10	木	○		10	日	○	面接授業
11	水	○	【勉】秋山 10:30	11	金	○	【勉】梅澤 10:30 【勉】石田 13:30	11	月		閉所日
12	木	○		12	土	○	面接授業	12	火	○	【勉】藤原 10:00 【勉】兼重 15:00
13	金	○	【勉】梅澤 10:30 【勉】石田 13:30	13	日	○	面接授業	13	水	○	
14	土	○	面接授業 第1学期面接授業空席発表	14	月		閉所日	14	木	○	
15	日	○	面接授業	15	火	○	【勉】蔵永 15:00	15	金	○	次年度博士・修士全科、H30-2修士選科・科目、学部 出願受付開始 【勉】梅澤 10:30 【勉】井上 13:30
16	月		閉所日	16	水	○		16	土	○	面接授業
17	火	○	【勉】蔵永 15:00	17	木	○	教員免許更新講習生受付締切	17	日	○	面接授業
18	水	○		18	金	○	【勉】井上 13:30	18	月		閉所日
19	木	○		19	土	○	面接授業	19	火	○	【勉】吉川 10:30 【勉】蔵永 15:00
20	金	○	第1学期面接授業追加登録開始 滋賀大学附属図書館利用申請締切 【勉】井上 13:30	20	日	○	面接授業	20	水	○	【勉】秋山 10:30
21	土	○	面接授業	21	月		閉所日	21	木	○	
22	日	○	面接授業	22	火	○	【勉】吉川 10:30 【勉】兼重 15:00	22	金	○	【勉】石田 13:30
23	月		閉所日	23	水	○	【勉】秋山 10:30	23	土	○	面接授業
24	火	○	【勉】吉川 10:30 【勉】兼重 15:00	24	木	○	通信指導提出期間(～6/7)	24	日	○	面接授業
25	水	○	【勉】秋山 10:30	25	金	○	【勉】梅澤 10:30 【勉】石田 13:30	25	月		閉所日
26	木	○		26	土	○	面接授業	26	火	○	【勉】兼重 15:00
27	金	○	【勉】梅澤 10:30 【勉】石田 13:30	27	日	○	面接授業	27	水	○	
28	土	○		28	月		閉所日	28	木	○	
29	日		昭和の日(閉所日) ゆとりの期間(～5/5)	29	火	○	【勉】蔵永 15:00	29	金	○	【勉】蔵永 11:00
30	月		閉所日	30	水	○		30	土	○	面接授業
○: 図書教材貸出可 ×: 図書教材貸出停止 【勉】勉強会				31	木	○	集中科目(看護)募集要項配布終了 集中科目(看護)受付締切				